

岡山県知事 殿

〔設置者の名称〕 学校法人 小土井学園

〔代表者の役職〕 理事長 〔代表者の氏名〕 小土井 洋二

## 大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

## ○申請者に関する情報

大学等の名称	学校法人小土井学園専門学校倉敷ビューティーカレッジ
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・ <b>専門学校</b> )
大学等の所在地	岡山県倉敷市寿町 10-5
学長又は校長の氏名	校長 有宗 義徳
設置者の名称	学校法人 小土井学園
設置者の主たる事務所の所在地	岡山県倉敷市寿町 10-5
設置者の代表者の氏名	理事長 小土井 洋二
申請書を公表する予定のホームページアドレス	<a href="https://www.kurashikibc.ac.jp/">https://www.kurashikibc.ac.jp/</a>

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

 更新確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知していません。 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。 この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるととも

に、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	事務局・尾池義洋	086-424-7070	Kura-bi_@pro.odn.ne.jp
第2号の1	事務局・高見友乃	086-424-7070	Kura-bi_@pro.odn.ne.jp
第2号の2	事務局・高見友乃	086-424-7070	Kura-bi_@pro.odn.ne.jp
第2号の3	事務局・高見友乃	086-424-7070	Kura-bi_@pro.odn.ne.jp
第2号の4	事務局・高見友乃	086-424-7070	Kura-bi_@pro.odn.ne.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《学校法人・準学校法人》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《学校法人・準学校法人以外》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	学校法人小土井学園専門学校倉敷ビューティーカレッジ
設置者名	理事長 小土井 洋二

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	131,479,688 円	122,504,463 円	8,975,225 円
申請2年度前の決算	123,494,260 円	111,118,737 円	12,375,523 円
申請3年度前の決算	116,391,169 円	112,940,365 円	3,450,804 円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	302,853,326 円	8,774,979 円	294,078,347 円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	440 人	220 人	50%
前年度	440 人	224 人	50%
前々年度	440 人	163 人	37%

(IIの補足資料) 「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

教育勘定科目の名称	資産の内容	申請前年度の決算における金額
有価証券	株式、国外公社債等	120,887,131 円
現金預金	定期預金、普通預金	181,966,195 円
		円

○ 「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	負債の内容	申請前年度の決算における金額
未払金	教育研究経費、管理経費	8,774,979 円
		円
		円

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	学校法人小土井学園専門学校倉敷ビューティーカレッジ
設置者名	理事長 小土井 洋二

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
美容専門課程	美容師養成科	夜・通信	47単位	6単位以上	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

希望者は閲覧できる。
------------

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	学校法人小土井学園専門学校倉敷ビューティーカレッジ
設置者名	理事長 小土井 洋二

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ <a href="https://www.kurashikibc.ac.jp/">https://www.kurashikibc.ac.jp/</a>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元国会議員夫人	2019.4.1～ 2022.3.31	大所高所からの助言
非常勤	企業経営者	2019.4.1～ 2022.3.31	会社経営者からの助言
非常勤	元県議会議員夫人	2019.4.1～ 2022.3.31	大所高所からの助言
非常勤	会社員・事務長 (前銀行勤務)	2019.4.1～ 2022.3.31	企業経営上からの助言
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	学校法人小土井学園専門学校倉敷ビューティーカレッジ
設置者名	理事長 小土井 洋二

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
共通フォーマット作成→教員会議(審議)→学生に配付	
公表時期: 4月1日	
授業計画書の公表方法	ホームページ <a href="https://www.kurashikibc.ac.jp/">https://www.kurashikibc.ac.jp/</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
定期試験 60 点以上、出席率 9 割以上を認定している。	
各授業課目の成績評価は、各期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案し、学年末に実施する。出席時間数の合計が卒業までに、1800 時間未満で、それぞれの課目について標準時間数が 80%に達しない者は、その課目について評価を受けることができない。	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各授業課目の平均値、100点満点で評価          評価方法は、「優・良・可・不可」で表示し、その区分は、優…100点～90点、良…89点～70点、可…69点～60点、不可…59点以下。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ <a href="https://www.kurashikibc.ac.jp/">https://www.kurashikibc.ac.jp/</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学生全員に配付している「学生便覧の履修要領6. 卒業認定の要件(1)」の基準に達した者に卒業証書を授与する。なお、成績にかかる基準(各教科科目60点)を満たさない者に対しては、基準を満たすよう補習授業を受講させる。その後、卒業認定会議を開催し審議・決定する。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページ <a href="https://www.kurashikibc.ac.jp/">https://www.kurashikibc.ac.jp/</a>

## 様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	学校法人小土井学園専門学校倉敷ビューティーカレッジ
設置者名	理事長 小土井 洋二

### 1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ <a href="https://www.kurashikibc.ac.jp/">https://www.kurashikibc.ac.jp/</a>
収支計算書又は損益計算書	ホームページ <a href="https://www.kurashikibc.ac.jp/">https://www.kurashikibc.ac.jp/</a>
財産目録	ホームページ <a href="https://www.kurashikibc.ac.jp/">https://www.kurashikibc.ac.jp/</a>
事業報告書	ホームページ <a href="https://www.kurashikibc.ac.jp/">https://www.kurashikibc.ac.jp/</a>
監事による監査報告（書）	ホームページ <a href="https://www.kurashikibc.ac.jp/">https://www.kurashikibc.ac.jp/</a>

### 2. 教育活動に係る情報

#### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容専門課程	美容師養成科(単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,010時間/67単位 単位時間/単位	630時間 /21単位	単位時間 /単位	1380時間 /46単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			67単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		60人	0人	6人	12人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 対面式授業。年間の時間割にそって実施。必要時間数+1割の時間数を確保している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学年末評価は、「優・良・可・不可」で表示し、その区分は、優…100点～90点、良…89点～70点、可…69点～60点、不可…59点以下。学年末試験以外の試験は、100点法の素点評価。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級基準：各教科課目ともに第一学年の評価が「可」以上であること。第一学年の履修時間が900時間以上であること。 卒業認定基準：各教科課目とも第二学年の評価が「可」以上であること。全学年の合計履修時間が1800時間以上であること。
学修支援等
（概要） 成績不振の課目及び正当な事由により出席時間数が標準時間数の80%に達していない課目について補習を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	18人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容室、まつげエクステサロン			
(就職指導内容) 定期的に開催する学内就職ガイダンス及び個別面談			
(主な学修成果（資格・検定等）) 美容師国家資格 94%合格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容師養成科	120,000 円	360,000 円	240,000 円	実験実習費
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.kurashikibc.ac.jp/">https://www.kurashikibc.ac.jp/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価委員は5名。評価項目は、教育目標、学校運営、教育活動、学習成果、学生支援、教育環境、学生募集、財務状況、法令遵守、地域社会貢献、学校自己評価結果。学校関係者評価委員会の結果をHPで公表し翌年度の教育目標立案に生かす。委員の選出区分は、企業・地域・保護者各1名、関係団体2名により構成している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
会社経営者	無期 (年度更新)	企業
町内会代表者	無期 (年度更新)	地域
関係業界代表者	無期 (年度更新)	関係団体
関係企業代表者	無期 (年度更新)	関係団体
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.kurashikibc.ac.jp/">https://www.kurashikibc.ac.jp/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.kurashikibc.ac.jp/">https://www.kurashikibc.ac.jp/</a>
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	学校法人小土井学園専門学校倉敷ビューティーカレッジ
設置者名	理事長 小土井 洋二

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	0人	0人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)
------

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

